

英語科単元計画（英語コミュニケーションⅠ）

授業者：栗原英子

対象（場所）	1年8組教室	令和7年11月14日（金）
単元名	Blue Marble English Communication I (Lesson 8) What to Do with Too Many Tourists	
単元の目標 （単元で育成する資質・能力）	1. 相手に十分聞こえる声量で、しっかりと発話する。 2. 間違いを恐れずに自ら英語で表現しようとする意欲・態度を養う。 3. ペア活動を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 4. 事実や自分の考え、気持ちを適切に話したり伝え合ったりする技能を身につけさせる。 5. 発問に対し主体的に応答しようとする態度を育てる。	
教材	Blue Marble English Communication I（数研出版）	

具体的な評価基準（表現発信力・協働的思考力）

6つの力	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度
S 未来を構想する	聞いたり、読んだりして理解した内容や表現を実際に発話の中で適切に活用できる技能を身につけている。	他者との対話を通して、自分の考えを構築し、説得力のある英語で表現できる。	全体の場面でも躊躇せずに、積極的に自分の考えや気持ちを発表することができる。
A 利他的に概念を使う	聞いたり、読んだりして理解した内容や表現を他者に適切に伝えることができる。	他者との対話から、関連する内容について共有し、それを英語で表現できる。	他者との対話の場面で、意欲的に自分の考えや気持ちを伝えることができる。
B 利己的に概念を使う	聞いたり、読んだりして理解した内容や表現を、英作文などで適宜使うことができる。	聞いたり、読んだりした内容について、自分の考えを英語で書き表すことができる。	聞いたり、読んだりするタスクに主体的に取り組むことができる。
C 知るのみ	本文で使われている語句表現や本文の内容について理解することができる。	他者が発言する内容について理解することができる。	他者との対話に配慮しながら参加できる。

本質的な問い 世界や日本のオーバーツーリズムにどのような解決策があるか、自分ならどのように対処するか

単元計画

時	学習内容	評価内容と方法	知識・技能	思考判断表現	主体的態度
1	Lesson 8 Overview	発問への応答、ペア活動	○		○
2～3	Lesson 8 Section 1～3	発問への応答、ペア活動、リプロダクション	○	○	○
4	Lesson 8 Section 4	発問への応答、ペア活動、パブリックディスカッション	○	◎	◎

○見取り・・・見えるもの 生徒の変化など ◎評価・・・見るべきもの=形成的評価 抽出・直感で可

◇評定・・・説明責任にも活用 記録に残す評価 根拠